

第9回全国ディスコン交流大会 in 埼玉の結果報告

開催日時：令和5年6月4日（日）9：30～16：30

開催場所：埼玉県所沢市民体育館 メインアリーナ

主催：全日本ディスコン交流協議会 主管：埼玉県ディスコン協会

協賛：一般社団法人 日本ディスコン協会

後援：埼玉県レクリエーション協会 所沢市

協力：埼玉県立所沢中央高校（書道部・ダンス部）

参加チーム：合計56チーム

全日本ディスコン交流協議会：53チーム

（奈良3、滋賀3、京都1、富山等3県合同1、埼玉45）

※ 埼玉には中学生チームが2チーム含まれており、中学生の参加は大会開始以来初めてのこと。

日本ディスコン協会：3チーム（岡山、静岡、栃木等の混成）

参加人数：競技者164名、スタッフ19名、合計183名

（当日の欠席者は皆無だったので、スタッフ一同安堵した）

開会式（10：00～10：40）府県別、市町村別に整列

平野大会会長の挨拶の後、藤本所沢市長と岡田埼玉県議会副議長から来賓挨拶を頂き、山田実行委員長から大会運営方法等の説明があった。また、昼食休憩時のアトラクションとして予定した重松流祭囃子に代わって、所沢中央高校ダンス部による激励のチアダンスを演じてもらうことと、大会横断幕を同校書道部の協力を得たとの発表があった。

前年度優勝の滋賀県チームから優勝カップが返還され、埼玉県横瀬Aチームの村上選手による選手宣誓の後、集合写真撮影と準備体操を行った。



主な大会実施要項（予め、参加者全員に組合せ表を含めた「参加者のしおり」を配布した）

組合せ及び試合方法 予め大会本部が設定した組合せに従い、各チーム6試合を行う。7点先取15分制（インターバル5分）の団体戦

コートについて

コートサイズ5^{メートル}×10^{メートル}で14コートを使用する。

1コートに4チームを配置し、4試合（1チーム2試合）毎にコートを移動する。（1チーム当り3コートを使用する）
得点表はエンドライン外側のホワイトボードに掲示する。

チーム編成と審判

1チーム3人編成とし、2人編成は不可（必要に応じて本部から補充）。4人編成でキャプテン以外の試合単位で交代出場は可。選手はチーム名札を着用し、本大会中、投盤順の変更は不可。審判（主審・副審・得点係）は組合せ表に基づき相互に担当する。主審（キャプテン）は当協会認定のインストラクターのみとし、不在の場合は本部スタッフが代行する。

順位決定方法

勝点方式（勝ち3点、引分け1点、負け0点）で順位を決める。勝点と同じ場合は得点の多い順、得点も同じ場合は失点の少ない順、失点まで同じ場合はキャプテンのジャンケンで順位を決める。

コロナ対応について

マスクと手袋着用は個人の判断に任せるが、コートチェンジの際に、ディスクン用具を除菌シートで消毒する。

第1～第4試合（10：45～12：00）以下全試合の進行役は松本（元）競技委員長
昼食休憩（12：00～13：00） 参加者は2階観客席で昼食。

1階フロアでは中央高校ダンス部10名によるチアダンス。



第5～第8試合（13：00～14：15）

コート移動（14：15～14：30）

第9～第12試合（14：30～15：45）

コート撤去、用具類片付け（15：45～16：00）参加者のご協力に感謝！

閉会式（16：00～16：30）開会式と同様に整列

表彰式：町田審判部長から今大会は6戦全勝のチームが6チームで、総得点も僅差の争

いであったとの成績発表があった。

賞品授与対象の下位チームから順次賞品等が授与された。

優勝 滋賀・彦根チーム（勝点18点、得点47点）



準優勝 埼玉・川口Fチーム（勝点18点、得点46点）【写真左】

第3位 埼玉・上尾2チーム（勝点18点、得点44点）【写真右】



賞品授与：上位3チームの他に10・20・30・40・50位の飛び賞とブービー賞が授与され、また、全員に参加賞が渡された。

なお、最終成績表は当日印刷が不能であったため、後日メールで配信した。

【追記】

大会前日の6月3日は、太平洋沿岸が線状降水帯の影響で東海道新幹線が午前中運休になってしまった。14時半からの定期総会会場はキャンセルし、17時からの懇親会も18時開始となったが、21名（埼玉9、県外12。男16、女5）が参加し、ディスコン談議に大輪の花が咲いた。（実行委員長山田記）